《令和5年度 国有林モニターアンケート結果》 (関東森林管理局)

国有林モニターの皆様には、毎月、広報誌やパンフレットなどの資料をお送りして、 森林、林業、国有林野事業について、情報発信しているところです。

今回の国有林モニターの皆様へのアンケートでは、毎月お届けしている広報誌等について、国有林モニター活動を通じて理解した内容等について、幅広いご意見を伺いました。

いただいたご意見等につきましては、今後の国有林野の管理経営や広報誌の作成に 活かしてまいります。

〇アンケート実施概要

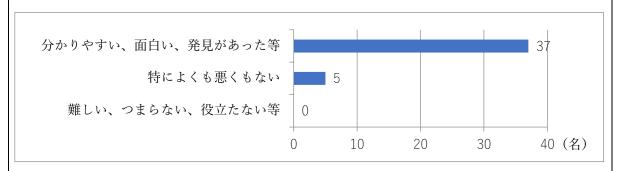
実施期間:令和6年2月15日~令和6年3月15日

依頼者数:66名 回答者数:42名 回答率:64%

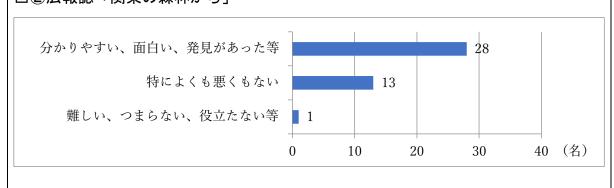
問1 国有林モニター通信として毎月お届けしている広報誌等のうち、良かったもの(分かりやすい、面白い、発見があった等)に〇印、悪かったもの(難しい、つまらない、役に立たない等)に×印をご記入ください。特に良くも悪くもない資料については空欄で結構です。(複数回答可)

<定期発行広報等>

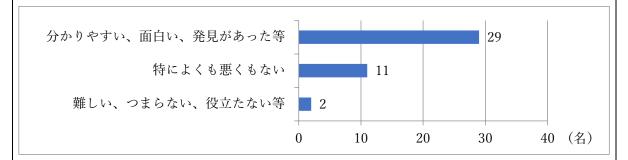
□①情報誌「林野」



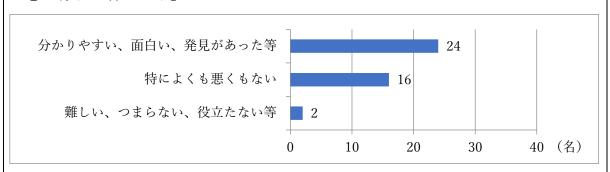
□②広報誌「関東の森林から」



口③広報誌「FOREST 通信」

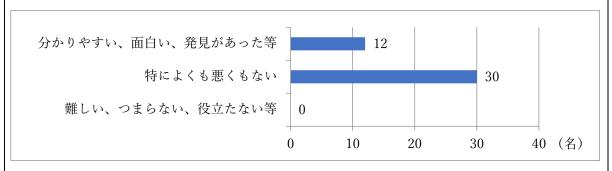


□④「赤谷の森だより」

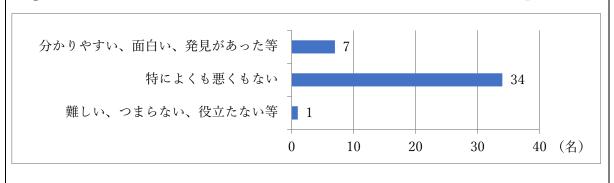


<冊子等>

□⑤資料「令和5年度関東森林管理局の重点取組事項」(5月)



□⑥資料「令和4年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」(11月)



問2 問1のうち、特に良かったもの、特に悪かったもの、又は改善すべきものがありましたら、その番号と理由をご記入ください。(複数回答可)

①情報誌「林野」

- ・毎号の特集ページは国有林事業を知る学びとなり、特に良かったと思います。
- ・全国各地でのイベントや林業に関する取り組み等を知ることができた。
- ・内容も分かりやすく丁寧に書かれていたので読みやすかった。
- ・みどりの大使も活動がよくわかり事業も理解しやすい。
- 写真を活用した分かりやすい文章で勉強になり、理解が深まった。
- ・私の知らなかった「林野」を広く教えて頂きました。
- ・はじめは固い内容で読みづらいと思っていたが、読み続けていくうちに頭の中に入ってくるようになった。

②広報誌「関東の森林から」

- ・「森づくり最前線」について、各地の現状や取り組み内容が紹介されていて新鮮だった。236号ではご当地名物まで掲載されており面白かった。
- ・太平洋側から日本海側まで、広範囲の林野情報を知ることができて良かった。

③広報誌「FOREST 通信」

- ・高尾のイベント情報があり参考になった。
- ・「高尾山のいきものたち」と「編集後記」で取り上げる動植物の紹介に季節の到来を感じる。

④「赤谷の森だより」

- わかりやすい説明で勉強になった。
- ・活字を小さくしてでも内容を詳細に伝えようという姿勢がある。
- ・広報誌を見て、一度赤谷を見に行きたいと思った。

⑤資料「令和5年度関東森林管理局の重点取組事項」

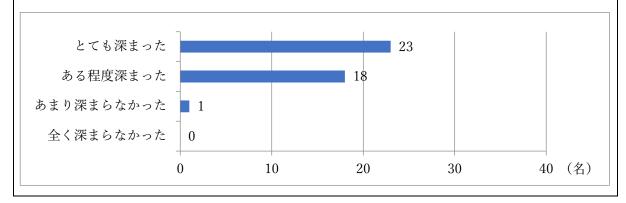
コメントなし

⑥冊子「令和4年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

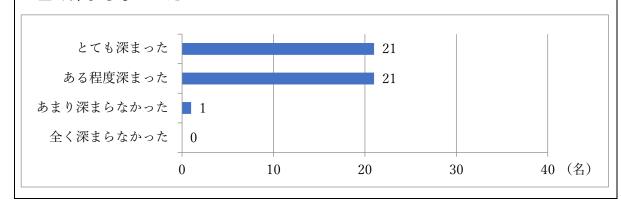
コメントなし

- 問3 「国有林モニター」としての活動を通して、国有林や森林管理局、森林管理署の仕事内容に対する理解は深まりましたか。次の中から該当するものを1つ選び

 辺印を付けてください。
- 口とても深まった
- □ある程度深まった
- 口あまり深まらなかった
- 口全く深まらなかった



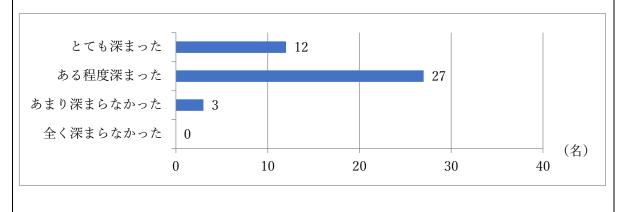
- 問4 「国有林モニター」としての活動を通して、森林・林業・木材産業についての理解は深まりましたか。次の中から該当するものを1つ選び☑印を付けてください。
- 口とても深まった
- □ある程度深まった
- 口あまり深まらなかった
- □全く深まらなかった



問5 「国有林モニター」としての活動を通して、「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」や「関東森林管理局の重点取組事項」で紹介している取組について、関心は高まりましたか。次の中から該当するものを1つ選び

②印を付けてください。

- 口とても高まった
- 口ある程度高まった
- 口あまり高まらなかった
- 口全く高まらなかった

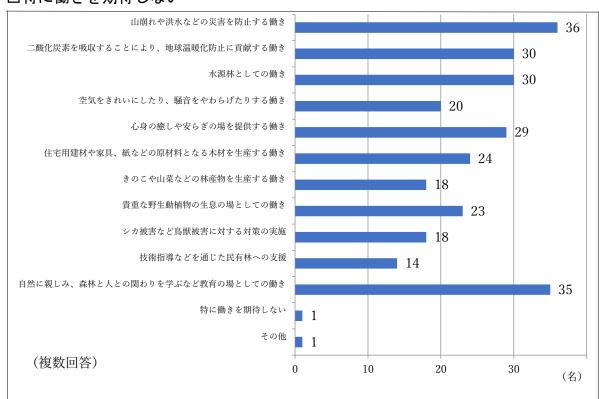


問6 上記の、問3から問5までについて、国有林モニターの皆様のご理解を深め、ご関心を高めるためには、関東森林管理局としてどのようなことに取り組んだらよいでしょうか。ご提案がありましたらご記入ください。

- 今の取り組みを粘り強く継続していくことが大切だと思う。
- 林野庁の事務所の見学なども是非取り入れてもらいたいと思います。
- ・数々の広報誌を発行していることを、モニターをしていると毎月手にし、知ることができますが、そうでなければ国有林(森林)に関わることを知る手段が乏しいと思います。 関東局管内だけでも県立の図書館などに配布できないでしょうか。
- ・総じて、地味で固い印象があるので SNS で発信したほうがいいと思いました。
- ・国有林モニター現地見学会はとても良い施策。できれば各森林管理署単位、もしくは複数署での合同開催などで林野事業に触れ合う機会を企画したらどうでしょうか。
- ・国有林へのボランティア活動の拡大を考えて欲しい。
- ・気軽に参加できる現地研修、子供向けのイベント等、今まで以上に多くの人に体験できる機会を増やして欲しい。森林について周知、関心を高めて欲しい。
- ・子供たちへの教育活動として、小・中学生を対象とした出前講座を行ってみてはどうか。 (子どもが親に教えそうだから)

問7 国有林に期待することは何ですか。次の中から該当するものに<
 ②印を付けてください。(複数回答可)

- 口山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- □二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き
- 口水源林としての働き
- □空気をきれいにしたり、騒音をやわらげたりする働き
- 口心身の癒しや安らぎの場を提供する働き
- □住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き
- 口きのこや山菜などの林産物を生産する働き
- 口貴重な野生動植物の生息の場としての働き
- □シカ被害など鳥獣被害に対する対策の実施
- 口技術指導などを通じた民有林への支援
- □自然に親しみ、森林と人との関わりを学ぶなど教育の場としての働き
- 口特に働きを期待しない



- 口その他(具体的に期待することがありましたら、ご記入ください)
- ・国有林だけでなく民有林にも期待。
- ・「住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き」は特に期待。
- ・森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き」について、若い人の森林人口 を増やす。

問8 国有林野事業や森林・林業に関するご意見、ご感想などをご記入ください。 (自由記載)

- 日常生活ではまず接することがない林野庁、関東森林管理局の事務分掌を、このモニター制度の一員となり理解を深めることができ、大変貴重な体験となりました。視察研修は残念ながら参加できませんでしたが、年に複数回実施できれば良いと思います。
- ・広報誌を通して、森林管理局の取り組みを知ることができた。今後も豊かな森林が維持されていくことを期待しています。
- ・毎月送付していただいた情報誌「林野」の表紙を楽しみにしています。すぐにパソコンで場所の確認をしていました。機会があれば行ってみたい場所がいくつかあります。
- ・誌面での PR 以外にも SNS、インスタ等を利用した PR がもっと増えてもいいと思いました。各広報誌はよくできているが、字が細かくて読むのが少し億劫でした。
- 動画ギャラリーは見やすく楽しくて良い。
- ・教育現場で「木育」活動を強力に進めてほしい。今後はますます森林教育や環境教育活動が必要である。
- ・現在行っている小学生の森林活動を継続して頂きたいです。森林の働きについて学ぶ機会をもっと全国的に広げて頂きたいと思います。
- ・儲かる林業、やりがいのある林業として、若者が職業として選べる魅力あふれるものに して欲しいです。そのためにも積極的に SNS で発信することが大切だと思います。
- ・高校で教員をしていますが、森林管理局にて働きたいと思う生徒が少ないのが残念です。 現在は警察や県庁も人材不足になりつつあるので、広く高校生に知ってもらう必要があ ると考えます。国有林の事業などは興味がある生徒もいるので、ぜひ、官学連携をして 欲しいと思います。
- ・林業の必要性は高いが、人手不足が心配される分野かと思う。ICT の技術を上手く取り入れて、有効な人材活動がうまくできると良いと思う。
- ・林業従事者の減少、高齢化を食い止めなければいけない。木材利用の魅力を訴え、木材 需要を掘り起こして欲しい。国有林がもつ組織力、技術力、資源活用力を十分発揮して 欲しい。
- 観光面などでも森林資源を活用して欲しい。
- ・スギ花粉症の有病率はすでに人口の4割以上に達しており、森林林業関係者には花粉飛 散量の削減に向けて、花粉の少ない森林づくりを進めることが期待されています。林野 庁による花粉発生源対策の取組は、長期に及び容易でないが、次世代以降にも繋がる国 民病対策であることから、自分ごとと捉え、関心を持って注視していきたい。